

第6学年 社会科学習指導案

福岡市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

単元名： 「江戸幕府と人々の暮らし」

小単元名：「皮多身分の暮らしを考えよう」

1. 指導観

- 本単元は江戸幕府の政治や人々の暮らしについて考え、大名支配や人々の身分が違うことに問題意識をもち、見出した問題を追究・解決するということを目標の一つとして掲げている。江戸の身分制度に着目し、いろいろな身分の人々の暮らしや願い、努力や工夫を学習することで、人間の「生きる力」つまりしたたかさや、たくましさを学び実感させこれからの生活に生かせるようにしていきたい。また江戸の身分制の学習を通して、中世から続く「ケガレ」意識に気づかせ差別のおかしさに気づかせたい。またこの学習を次の単元の「解放令」の学習につなげていきたい。

- 本学級の子どもたちは、4月から取り組んできた「資料を読み解き科学的認識を基本に学習」に慣れてきている。また本単元に入る前から「ケガレとキヨメ」の学習や卑弥呼の時代に奴隷がいたことから人々の生活に身分差があったことを認識している。
本単元の身分制の学習においては、各身分のきまりと人々の願いや、それに対する工夫や努力について学習し、学習が進むにつれ大名支配や人々の身分が違うことに問題意識を持ち始めている。そこで身分制が確立した江戸時代の学習において、被差別の立場にあった人々の暮らしや願い、工夫・努力を学ばせることで、科学的認識をもって差別のおかしさに気づく子どもを育成したいと考える。

- 本単元の指導にあたって具体的に三つの手立てを工夫する。一つ目は、学習形態の工夫である。一斉学習を基本とするが、今回は短時間であるがグループ活動を織り交ぜ、児童の発言や考えをより深いものにしたいと考える。二つ目に、子どもたちが作り出す「学習材」の予測と準備をする。学習を進めていく中で出てくる発言や疑問などを「学習材」としてとらえる。例えば、資料を見て考えたことや、グループによる話し合いの言葉などである。教師は子どもたちの発言や疑問を、学び成長するための「学習材」としてとらえ、授業に中に組み込むのはもちろんのこと、予想される課題への解決策を準備しておく。三つ目に、振り返り活動の工夫をする。本単元を通じて共通のワークシートであるが、項目は三つ。①今日の学習で学んだこと・分かったこと。②誰の意見や発表がよかったか。(理由も書くこと)③今日の授業の感想。以上の三項目を設け振り返りを行う。特に②は4月から行っている項目である。内容をしっかりとチェックして課題を明確にし、次時学習のめあて作りに生かしていく。

2. 単元の目標

- 江戸幕府の始まり，大名行列，鎖国，歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学について調べ，身分制度が確立し，武士による政治が安定したことや，町人の文化が栄え新しい学問がおこったことがわかる。
- 徳川家光による幕府の政治や，外国との交流，身分のきまりと人々の願い，近松門左衛門などの町人文化，杉田玄白などによる新しい学問について関心を持ち，意欲的に調べ，考えながら追究することができる。
- 江戸時代に起こった様々な出来事や人物について，地域の博物館や郷土資料館，年表や文章資料などを活用し，調べた過程や結果をわかりやすく表現することができる。また，問題意識と学習の見通しをもって学習に取り組むことができる。

3. 単元計画「江戸幕府の政治と人々の暮らし」（全 11 時間）

時間	単元名	学習のねらい	学習活動	協同の活動の工夫 ア) 学習形態 イ) 学習材 ウ) 振り返り活動
5	1. 家光による幕府の政治 ・参勤交代 ・島原・天草一揆 ・出島と鎖国 ・朝鮮通信使 ・蝦夷地と琉球王国	<ul style="list-style-type: none"> ・徳川家光の参勤交代や武家諸法度・鎖国政策などによって，幕府の支配の仕組みが固められたことをとらえることができる。 ・鎖国政策のもとでの外国との交流の様子を，各地に残る行事などからとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徳川家光について調べる。 ・幕府と外国とのつながりを調べる。 ・幕府や藩と琉球王国・アイヌ民族との関係について考える。 ・江戸時代の外国との交流の様子を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ア) 一斉・グループ イ) 児童の発言，ワークシートの書き込み グループでの話し合い ウ) ワークシート
3	2. 町人文化と新しい学問 ・近松門左衛門と安藤広重 ・解体新書と虎松 ・江戸の医学	<ul style="list-style-type: none"> ・近松門左衛門や安藤広重の人物調べから，町人文化が栄えたことをとらえることができる。 ・蘭学・国学という新しい学問が盛んになったことをとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近松門左衛門・杉田玄白・伊能忠敬・本居宣長の働きを考える。 ・寺子屋について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ア) 一斉・グループ イ) 児童の発言，ワークシートの書き込み グループでの話し合い ウ) ワークシート
	3. 江戸時代に木来た人々 ・身分の決まり ・農具の開発 ・百姓一揆 ・江戸の商人 ・差別法令と皮多	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の人々の暮らし調べから，支配者である武士を中心とした身分制度のもとで，人々が暮らしの向上をめざしていたことをとらえることができる。 ・百姓や町人被差別身分の人々の願いや，工夫・努力について関心を持ち，考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の身分のきまりについて調べる。 ・百姓や町人，被差別身分の人々の暮らしのほか，農業や商工業の様子を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ア) 一斉・グループ イ) 児童の発言，ワークシートの書き込み グループでの話し合い ウ) ワークシート

4. 本時 平成 22 年 11 月 日() 校時 於 6 年 組教室

5. 本時の目標

- (関心・意欲・態度) 江戸時代を生きた人々の願いや、それに対する工夫や努力に関心を持つ。
- (思考・判断) 江戸幕府の政治や人々の暮らしについて考え、大名支配や人々の身分が違うことに問題意識をもち、見出した問題を追究・解決している。
- (技能・表現) 身分のきまりや農民の暮らしについて、資料などを効果的に活用して調べている。調べた過程や結果を目的に応じた方法でわかりやすく表現している。
- (知識・理解) 身分制度が確立したことをとらえている。

6. 本時指導の考え方

- 本時学習は「江戸幕府と人々の暮らし」の最後の単元であり、次の単元の「明治維新から世界の中の日本へ」のプロローグともなる単元である。皮多身分の暮らしを考えることで、被差別の立場にありながらもたくましく生きていく人々の葛藤と努力に関心を持ち、身分制度に対する問題意識をより確固なものにしていきたい。
- ここで学んだことを次の単元の中心的な学習にあたる「解放令」へとつなげる足がかりとするべく、皮多身分に出された差別法令をしっかりと読み込ませておきたい。またそこで児童が学習したこと、考えたこと、感じたことをつぎの単元の学習材としたい。
- 本時学習の指導にあたっては、三つの協同の活動の工夫を通して指導・助言をしていく。まず、学習形態の工夫である。前時学習までと同様に、画像資料から気がついたことを発表させ、その発言を学習材とし、学習を進める。授業の内容によるが今回は短時間であるがグループ活動を織り交ぜ、児童の発言や考えをより深いものにしたいと考える。
グループ活動の利点は友だちの考えに対し、すぐに質問することができ、それに答えていくことで、より自分の考えを深めるプロセスを短い時間で行うことができる。また、友達のよさにも気づきやすいと考える。
さらに、班で話し合った考えを学習材として一斉学習の形態を用いる。そうすることで、違う班の話し合いの成果を知り、よさを知ったり、考えを深めたりすることができる。
- 予想される学習材と、それに対する支援は、教師が考えられるだけ十分に予想し、活動の中で適切な助言ができるよう準備しておく。
- 振り返り活動の工夫である。本単元では毎時間同じワークシートによる個人の振り返りを行っている。今回も同じワークシートを使用して振り返りを行う。内容をしっかりとチェックして課題を明確にし、次時学習のめあて作りに生かしていく。

7. 準備

教師：皮多身分絵の拡大コピー、学習プリント

児童：教科書、ノート、資料集

8. 本時の展開

配時	学習活動	めざす子どもの姿	教師の支援
5分	1. 皮多身分の絵を見て、前時までの学習をふり返る。 2. 本時学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">皮多身分の暮らしについて考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時学習を振り返っている。 ・ 絵を見て気づいたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習内容を振り返り本時学習への意欲を高める。 ○ 資料を配付し、拡大を前にはる。 ○ めあてを意識させ、活動へ入るよう助言する。
10分	3. 配布されたワークシート①に書き込みをする。 4. 書いたことを全体に発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに自分の考えを書き込んでいる。 ・ 自分の考えをクラスみんなに伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机間指導をし、書き込みに困っている児童に助言する。 ○ 聞き方・話し方を意識させる。
15分	5. ワークシート②（差別法令）を配布し（ ）に入る言葉を考え、班で話し合う。 6. 話し合ったことを全体に発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに自分の考えを書き込んでいる。 ・ 自分と友達の考えを比べながら話し合いをしている。 ・ 自分の考えをクラスみんなに伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机間指導をし、書き込みや話し合で自分の考えを出すのに困っている児童に助言する。 ○ 聞き方・話し方を意識させる。 ○ 考えのいいところを繰り返して言うなど意識させる。
10分	7. 答えを入れ、そこから分かることを考え、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えに根拠を持って発表する。 	
5分	8. ワークシート③④を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のよさを認めている。 ・ 次時学習への意欲を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の予告をする。